

第12回 昭和の森親子田んぼ教室

親子田んぼ教室 草取り編

岡田 富子（千葉市）

日 時：2016年6月25日（土）9:30～12:00 天気：

曇り時々雨

参加者：7家族（大人10名 子ども9名）

担当指導員：武田宏子 山下美佐子 山田益弘 岡田富子

前夜の強風、雨で心配しましたが、翌朝風も止み無事に実施することができました。今回は7家族の参加です。始めに4月30日に植えた苗がどのくらい成長したか計測しました。長さ15cm～20cmが60cm～70cmに、3本ずつ植えた苗が多いところで30本、平均で20本位に分けつしていました。稻の葉で目を突かないように注意しながら草取り開始。前日ビオトープの会の方々が草取りをして下さり、早く終えることができました。田んぼの雑草は根もしっかり張り、稻の栄養分を横取りしてしまいます。また浮草、ヒルムシロなどが水面を覆ってしまうと水温も上がり酸素も不足し、背の高くなる草は日光を遮ってしまい稻の成長に悪影響を与えてしまいます。農家の人たちの苦労が良く分かります。草取り終了後、網を手にどんな生き物がいるか捕まえて観察することになりました。大人も子どもも夢中になり水中の生き物や陸上の生き物を捕まえ、バケツやトレー、虫籠の中へ！

<今日観られた生き物>

ヤゴ（2種類） ドジョウ シマアメンボ ヒメアメンボ マツモムシ アメリカザリガニ コミズムシ メダカ（多数） アカミミズ カワニナ（多数） ニホンアカガエル（子ガエルたくさん） クサキリ ヒメギス フキバッタ幼虫 キアゲハ ツマグロヒヨウモン 卵のうを持ったコモリグモ ノシメトンボ（多数） カブトムシの頭（何に襲われたか？） オオヒラタシデムシが生きたフタオビコヤガ幼虫を食べた ウスモンオトシズミが落とした搖籃 ウスモンオトシズミの成体

最後に、イネのひみつ、田んぼの生き物のつながり、ご飯は残さず食べよう、と話をして解散しました。

